

平成 年 月 定例会
一般質問通告第 号

平成 年 月 日 時 分 受付
質問順 日目 番目

一般質問通告書

平成 30 年 1 月 24 日 提出

久喜市議会 議長 様

議席番号 2 番 氏名 石田 利春

下記の事項に関して一般質問を行いたいので、会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、
通告いたします。

1	<p>質問事項 東日本大震災で被災を受けた方によりそった支援を</p> <p>質問内容 久喜市では南栗橋地域において液状化被災が発生し、家屋の傾斜など 556 件に及ぶ大変な被害が発生した。久喜市はこれまで国の支援とともに久喜市独自支援策も講じて進めて来た。評価している。しかし、液状化対策工事として取り組んだ、地下水位を低下工事の「パイプの埋め込み」を区切りとして「対策完了」とし、被災者に対する支援事業も終了とすることについては理解できない。以下伺う</p> <p>(1) 1 1 月議会の答弁で「液状化対策はまだ終了とは考えていない。」との答弁があった。終了していないのであれば「支援策」は地盤が落ち着く 2 年先まで延長すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 固定資産税減免は継続すべきである。 ア 実施してきた目的、実施してきた件数など概要を伺う。 イ 国からの交付対象もあり実施してきた。国の支援はいつまでとしているか。 ウ 平成 2 9 年度をもって終了とする根拠は何か伺う。 エ 固定資産税減免は、被災されたままの家屋もあり継続すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 地下水位低下工法によるパイプ埋め込み工事にもなう道路の凹凸が目立つ。修復計画はどのようにすすめるのか。</p> <p>(4) 地下水位を低下させる水抜きモニタリング調査を実施しているが、進捗状況はどうか。住民への周知はどのようにすすめているか。</p> <p>(5) 液状化対策検討委員会の開催日程はいつごろを見込んでいるか。</p>
2	<p>質問事項 済生会栗橋病院加須市へ一部機能移転、急性期部門の継続を</p> <p>質問内容 済生会栗橋病院の一部機能の移転問題は、栗橋地区にとっては最大の問題で不安の声が聞かれている。とりわけ、緊急時の対応が心配との声が聞かれている。市の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 現在の状況はどのようなものか伺う。 ア 副市長と健康増進部長、健康医療課長が月 1 回程度、済生会栗橋病院を訪問し、病院長との継続的な協議を進めている。11 月議会以降の協議の回数と協議の内容はどのようなものか伺う。</p>

	<p>イ 済生会栗橋病院は、調査業者を選定し事業計画立案のための調査を開始するとしているが、計画がまとまる時期など市は把握しているか。</p> <p>ウ 現状について市民に知らせる内容はないか伺う。</p> <p>(2) 市は済生会栗橋病院における同様の医療の継続、第三次救急の早期実現を求めていると認識しているが、「心筋梗塞」など一刻を争う急性期部門を現在地に残してほしいとの声が強い。日本共産党久喜市議団が実施した市民アンケートでも7割の方が存続してほしいとの声を上げている。市はこのような市民の声を受け止め、急性期部門を残すため全力を尽くし、改めて栗橋病院にも伝えてほしいがいかがか。</p> <p>(3) 栗橋病院が具体的にどのような病院として再整備されるか、示されていない状況から、具体的な支援策を検討できる状況ではないとしているが、急性期部門を現地存続する為に久喜市としても支援する意思があることを伝えているか伺う。</p>
3	<p>質問項目 水道使用料金の引き下げを検討すべき</p> <p>質問内容</p> <p>市民の暮らしを支えるため水道料金の引き下げを実施すべき。アベノミクスによる景気回復が言われているが、消費税増税が実施されて以降、国民の消費支出は下がり続けており、共産党議員団が実施したアンケートでは「暮らしが苦しくなった」との回答が41%に及んでいる。生活の実態が厳しいことを示しており、平成28年度決算における給水停止対象世帯は2069件。水道事業における財政状況は、安全安心の事業を計画的に進め、やりくりをすれば、引き下げは十分可能であると考え。引き下げの検討をもとめ以下伺う。</p> <p>(1) 純利益が平成28年度約8億円。これまでの説明で「長期前受け金戻し入れ」分の金額を除いた分が本当の純利益であるかのような答弁があるが、新たに現金が増加するものではないものの、長期前受金戻し入れに見合う分の減価償却があり、純利益は変わらない。水道ビジョンに掲げた純利益試算額と比較し、どのような決算となっているか。年度別とその累計額を伺う。</p> <p>(2) 建設改良事業の計画を前倒して実施してきた。平成28年度決算では14億6763万円の前倒し、平成30年度予算化した事業を含めると、前倒しはどれぐらいとなるか伺う。</p> <p>(3) 水道ビジョンに掲げた計画の達成は当然早まると見込まれるが、何時頃と見込まれるか伺う。</p> <p>(4) 平成28年度決算、有収率92.04%は県内でどのような位置にあるか伺う。</p> <p>(5) 久喜市はほぼ平坦な土地であり、水道事業を進めていく上で特別困難な地理的条件はないと考えるがいかがか。埼玉県内の自治体と比較した場合どのような認識か伺う。</p> <p>(6) 借入金の返済はこれまで計画どおり実施してきた。今後返済予定は計画通りか。その場合当初の残高から見て借入金残高はどのようになるか。比率も伺う。</p> <p>(7) 水道使用料の10%引き下げを実施した場合、単年度でどれぐらいの金額が見込まれるか伺う。</p>

4	<p>質問事項 栗橋関所を復元させ、八坂神社移転と一体的にとらえ地域活性化を</p> <p>質問内容 栗橋地区では利根川の堤防強化事業が進められ、防災公園の設置を含めた区画整理事業が進められている。堤防が強化される反面、商店街として栄えてきた街が衰退化している。地域を活性化して行きたいとの思いから伺う。</p> <p>(1) 江戸時代、栗橋宿として栄えた商店街を活性化させていく為にも、人的交流のシンボルとして関東三大関所の一つ「栗橋関所」を復元させ、観光資源として活用することは大変有効だと考える。復元に向けた検討を進めるべき。いかがか。</p> <p>(2) 復元した関所を「歴史的建造物」として見物するだけにせず、関所を実際に通ってもらい「体験型施設」として復元することが、人的交流の活性化につながると考えるがいかがか。</p> <p>(3) 防災の機能も備え、観光資源も意識した計画を進めていく上で、地域の活性化を願う方や、郷土歴史に詳しい方など、関係する市民も参加する「日光街道栗橋宿活性化検討委員会」(仮称)を、市が主導して設置することはいかがか。</p>
5	<p>質問事項 栗橋公民館の空き室活用とトイレの整備を求める</p> <p>質問内容 (1) 公民館を利用していた学童保育が、新たに施設が出来たことから「2部屋」が空いた。活用するとしているが、いつからどのように活用を開始するのか伺う。</p> <p>(2) 栗橋公民館の老朽化が進んでいる。トイレなどの整備が求められる。とりわけ男子トイレは悪臭もしており早急に改善を進めるべきと考えるがいかがか。</p>
6	<p>質問事項 排水路に蓋掛けをすることで、悪臭防止、交通安全、通行の確保を</p> <p>質問内容 栗橋地区内の道路で、車両のすれ違いが困難なほど狭い道路では、脇に水路がある場合この水路に蓋掛けをすることで車両の通行を確保し、交通安全につながっている。また排水路の悪臭防止ともなる。一石二鳥で費用対効果が大きい。整備促進を求め伺う。</p> <p>長年、地元の方から要請のある「市道栗橋 96 号線」国道 125 号と並行して走っている道路。蓋をかけて交通安全と悪臭防止につなげるべきと考えるがいかがか。</p>

以上